



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和6年1月9日
文責：校長 江上 知男



代表発表(4年)

令和6年の「幕開け」です！

—あけましておめでとうございます—

令和6年の幕が開きましたが、早々に大変な災害・事故の連続で、心が落ち着きません。被害に遭われた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の復旧・復興について、「できること」をみんなで考えたいと思います。

さて、1月9日(火)は、本校の3学期始業式でした。体育館で子どもたちの元気な顔を直接見ることができ、職員一同新たな学期に向かう気持ちが高まったところです。

冬休み期間、子どもたちの安全・安心な生活に気を遣っていただき、心から感謝いたします。「学年のまとめ」である3学期の始業式の中で、4年生の代表が「3学期に頑張りたいこと」を発表しました。とても落ち着いて、内容がある発表でした。また、校長及び防災主任の中ノ森先生からは、次のような話をしたので紹介します。

- 1月1日に石川県能登地方を中心とした大地震が起こりました。震度7というもの凄い揺れで、亡くなった方が100人以上、行方のわからない方も数百人おられ、刻々と数が変わっています。地震が発生して1週間以上、未だにどれくらいの被害が起こっているのか、はっきりわかっていません。今この瞬間も、何万人という人が、食事も満足にできず、雪が降る寒い中で水や電気などを自由に使えない避難生活を送っておられますし、被害を受けた人たちを助けようと、たくさんの方が懸命にいろんな作業や支援をしておられます。
- 被災地では、学校が「避難所」になっています。皆さんは今日、当たり前のように始業式を迎えられますが、被災地では学校がいつ再開できるか分からない状況だと思えます。家に帰れず、学びたいときに学べない、遊びたいときに遊べない、しょっちゅう起こる地震に怯えて過ごさなければならない小中学生が、被災地にはたくさん居ます。
- およそ8年前に、熊本では同じような大地震を経験しました。嘉島町を含む上益城郡は、大きな被害を受けました。全国の人たちから助けられて、地震の被害から立ち直ってきました。被災地に支援をするのは「大人の仕事」ですが、皆さんも、皆さんなりにできる支援があれば、「気づき、考え、行動して欲しい」と思います。

「3つのグローブ」に込められた思い…！

冬休み中に嬉しいことがありました。ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平さんから、3つのグローブが送られてきたのです。メッセージには、こう書かれていました。「私は、このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルになることを望んでいます。それは、野球こそが私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。寄贈をさせていただけることに感謝します。野球しようぜ。」と…。



大谷さんの思い！

大谷さんは、「自分は野球を一生懸命することで、人間として成長できた。皆さんも、夢を持って、自分のやりたいことに全力で取り組んで欲しい。」と言いたいのだと思えます。このことを、始業式の中で紹介させていただきました。野球への興味に関係なく、「夢を持って頑張るって欲しい」という大谷さんの思いは伝わったと思います。「やってみなきゃわからない」と努力を続ける大谷さんの姿には、説得力があります。

このグローブは、運動委員会の先生や委員の人と相談して、みんなが触れられるようにしたいと思います。保護者や地域の皆さんも、遠慮なく来校ください。そして、是非大谷さんの思いに触れてください。